

障がいのある方に対する取組について

【関連：目標 4（1）（2）】 資料支援室・総合サービス室

【事業目的】

- 「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（通称：読書バリアフリー法）の目的・理念に則り、視覚障がい者等の読書環境、情報環境の改善と資料の量的拡充を図る。

【事業概要】

- 電子書籍の導入
電子書籍サービス「KinoDen」を導入、文字色反転、文字サイズ・コントラストの調整が可能なほか、一部資料が音声読み上げ対応（令和3年9月現在 698 冊）
- 来館利用者向けの読書環境・情報支援機器等の整備
 - ・音声読み上げパソコン、拡大読書器、ブレクストーク、タブレット、リーディングトラッカーを整備
 - ・筆談のほか、カウンターに助聴器、コミュニケーションボードを設置し、障がいの種類及び程度に配慮した利用者とのコミュニケーションツールを整備
- ホームページ利用者に向けてのサービス
 - ・録音図書所蔵検索専用の OPAC（オンライン蔵書目録検索システム）を提供
 - ・製作した録音図書のタイトルを2か月ごとに音声案内で紹介
- 録音図書の製作
 - ・福岡県立図書館音訳の会（ボランティア）が DAISY（デイジー）図書を製作
令和2年度受入：114 タイトル
 - ・音訳技術の向上や知識習得のための研修会や録音図書製作ボランティア養成講座を開催
- 録音図書貸出サービス
 - ・録音図書利用冊数（令和3年度福岡県立図書館要覧より）

	個人（冊）	団体（冊）	合計
平成30年度	1,434	1,388	2,822
令和元年度	1,309	464	1,773
令和2年度	1,596	872	2,468

- ・サピエ図書館（視覚障がい者情報総合ネットワーク）オンラインリクエスト
平成27年7月からサピエ図書館オンラインリクエストの受付開始
令和2年度オンラインリクエスト受信数：784 回
- ・国立国会図書館視覚障がい者等用データ収集事業への参加
音声 DAISY データの提供館として令和元年7月から国立国会図書館へデータを提供
令和2年度登録数：180 タイトル（累計 281）、利用数：27,561 回（4月～3月）
- 他機関との連携
 - ・福岡県点字および録音図書連絡協議会の運営
視覚に障がいのある人等の読書普及に資するための情報交換や研修会を実施
現在会員数は13施設
公共図書館5館・点字図書館3館・視覚特別支援学校4校・国立福岡視力障害センター

【今後の課題】

- バリアフリー資料の種類と量的拡充
 - ・録音図書、大活字本といったこれまでの収集資料に加え、音声読み上げに対応した電子書籍、オーディオブックなど、障がいがある人だけでなく、紙の読書が困難になった人にも広く提供可能な資料の収集
- 点字図書館等との連携及び図書館機能の明確化と補完体制の構築
 - ・福岡県点字および録音図書連絡協議会において、公共図書館と専門図書館のそれぞれの特色・機能を活かした機能分担と連携の在り方を検討する。